

<MDPRO ミニコラム>薬事工業生産動態統計と貿易統計の比較

薬事工業生産動態統計(以下、薬事統計)の2015年7月の月報より、以下の内容が記載されました。

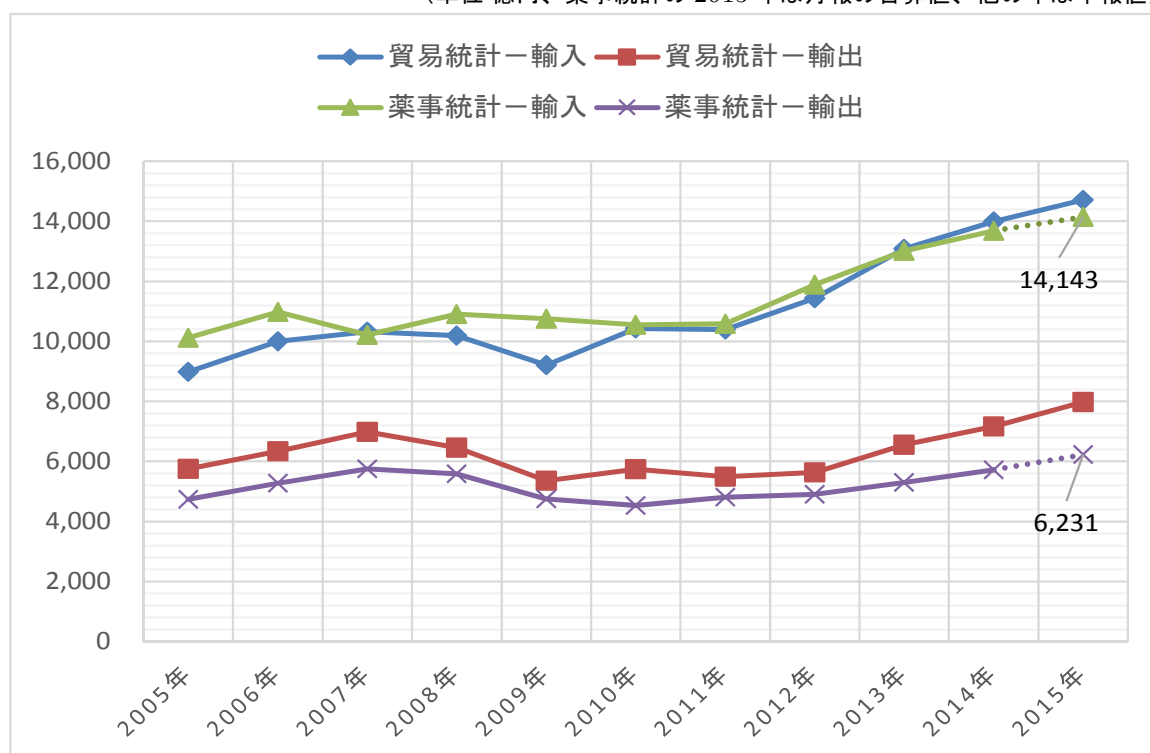
利用上の参考事項 6. 輸出入の数値についての注意事項

この調査における輸出入の数値は、国内の生産力などの実態を明らかにすることを目的としている統計であり、貿易実態を把握するための利用には適しません。そのため、輸出入の数値を利用する際はご注意ください。

このため、輸出入額について薬事統計(年報値)と財務省貿易統計^(注)を比較したところ、経時的な増減の推移については同様の傾向がみとめられました。

図：薬事統計と貿易統計の輸出入額

(単位:億円、薬事統計の2015年は月報の合算値、他の年は年報値)



輸出入金額の差の要因として、各統計で適用されている製品単価・数量の違いや、薬事統計調査に係らない企業等を介して輸出入が行われている可能性などが挙げられ、これらの要因が複合的に影響していると考えられました。

なお、薬事統計の2015年1月から12月の月報の合算値：輸出額6,231億円と輸入額14,143億円をプロットしたところ、前年までと同様の相関が認められました。

貿易統計は当該月の翌月中に結果が公表されることから輸出入の動向のタイムリーな把握に有効であると考えられました。

出典

薬事工業生産動態調査：<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/105-1.html>

財務省貿易統計：<http://www.customs.go.jp/toukei/info/>

(注) 貿易統計では品目ごとに固有の分類番号(HSコード)が付与されており、医療機器に関連するものを選択して集計を実施。集計対象としたHSコードはJEITA発行「医療機器調査報告書～世界49カ国の輸出入統計～」で採用されたものを適用。薬事統計の対象製品とは厳密には整合していないことに留意を要する。